

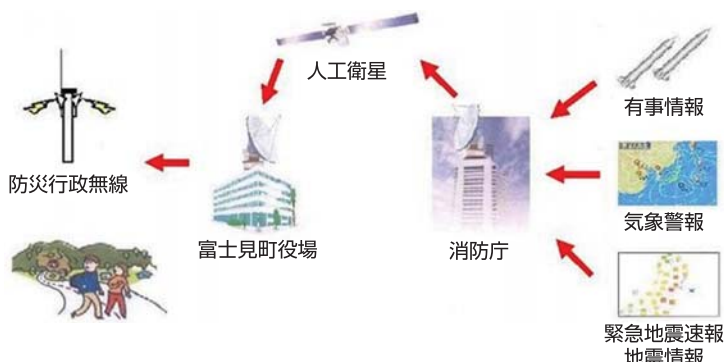
緊急情報の試験を行います

～全国一斉の防災行政無線などを用いた伝達試験～

問 総務課 防災・危機管理係 ☎629326

富士見町では、地震や武力攻撃などの災害時に、全国瞬時警報システム（J-ALERT）による国からの緊急情報を、さまざまな情報伝達手段を用いて確実に町民の皆さまへお伝えするため、町内で緊急情報の伝達試験を行います。

○9月12日(水) 10時00分ごろ
// 10時30分ごろ
計2回



富士見町が、当日実施する試験は次のとおりです。

- 【情報伝達手段】 ① 防災行政無線の放送 ② 有線放送 ③ 戸別受信機
※町内70か所に設置してある防災行政無線から、一斉に放送されます
- 【内容】 ①「これは、試験放送です」…… 3回
②「こちらは、広報ふじみです」
③ 防災行政無線チャイム

注）富士見町以外の地域でも、全国的に様々な情報伝達手段で試験が実施されます。

※J-ALERT（ジェイ・アラート）とは、地震や武力攻撃などの災害時に国から送られてくる緊急情報に対し、人口衛星などを活用して瞬時に情報を伝達するシステムです。

ふるさとのみなさんへ 東都高原富士見会だより



刈脇 鶴子
(上葛木出身)

ふるさとを振り返って

私の生まれ育ったふるさは、甲州街道の四十三番目の宿駅「葛木宿」として繁栄し、重要な役割を果たしてきました。時は過ぎ、現在はいずこも同じ、少子化や過疎化が進み、過ぎし時代の面影が薄れてきました。しかし、数年前から「元氣を出すぞ！葛木宿の会」が結成され、様々な施策を講じ、地域の活性化を進められ、とても元氣が感じられます。

「葛木 日暮れて 道三里」と言われるように山間の閑静な、そして何のへんてつもない地域であります。が、私にとっては、かけがえのない「ふるさと」です。自然ほど美しく「心」を和ましてくれるものは、他にありません。

幼少のころ、釜無川の河原に咲く「月見草」に感激を覚えました。また、三光寺の花まつりや釜無川での川遊び、分教場の庭で幾重にも輪になつてダンチヨウ節を歌い、夜が更けるのを忘れ、盆踊りを踊りました。

秋まつりには、「青年会による踊り」や若者と最高潮に達する「演芸会」など、想い出は尽きません。私は高校卒業後、地元就職し、そのかたわら家の手伝いや青年会の活動など、楽しい日々をこの「ふるさと」で過ごすことができました。昭和34年、転勤により生まれ育ったふるさとを離れ上京し、平成7年に定年退職しました。その後、関連会社に再就職し、平成22年に退職しました。

ふるさとを離れて50年、年に何度か帰省しますが、いつも変らぬ「ふるさと」がそこにあります。しかも、毎日の生活の中で「ふるさと」の熱い想い出は、いつでも心に去来しています。

現在は、千葉県柏市高齢者クラブの一員として、ささやかな趣味に興じて生活しています。

想いのままを綴り、失礼いたしました。皆様に支えられ、東都高原富士見会は、とても元氣です。

富士見町の皆様の、益々のご発展をご祈念申し上げます。

